

FORUM

レポートの紹介

【社会のアップデート】

共感資本社会をつくる～お金だけに振り回される社会を変えませんか～

Point

1

イベント内容の要約

どうして人はこんなにお金に振り回されるのでしょうか？

お金が幸せにしてくれるわけではなく、幸せな生き方をしているかどうかの方が重要ではないでしょうか。

私たちは、幸せな働き方ができているのでしょうか？

その方が大事なのに、人はなぜかお金が幸せにしてくれる、お金が代替してくれると勘違いしています。

コロナ禍によって時代の変化が進む中、幸せということを研究すればするほど、「手放す力」というのがすごく大事になってきます。

しかし、過去の成功が大きければ大きいほど、また時間軸が長ければ長いほど手放すことができません。

「新しい経済のしくみをどういう風にデザインしていくのか？」「新しい働き方をどうやってデザインしていくのか？」が問われる年になりました。

世の中のパラダイムが大きく変化していく中で、かけがいのない社員たちが副業・個人事業主化させていくとした場合に、どういう風にサポートしていくのか。

しかし、サポートを受けられる仕組み自体がまだデザインされていません。

共感コミュニティ通貨「eumo」は、お金を人の繋がりに変えていくもの。

それは、ソーシャルイノベーションを活性化していく活動の一つのしくみであり、共感コミュニティ通貨を使いながら体感していくもの。

どれだけ感謝の量・ギフトの量・メッセージが増えていくのか、やっている参加者たちの幸福度がどうやって上がっていくのか？

これからの社会実験の中でそういったものを測定する予定です。

Point

2

今回のイベント企画の背景や目的は？

投資会社が事業会社（ほとんどの組合員の働く場、生きる場そのもの）を買収し、多くの組合員の雇用と賃金が後回しにされる資本主義の現状。

「幸せよりお金が大切な個人」「理念より利益が大事な会社」。

果たして、私たちが実現したい世界はこんな世界だったのでしょうか。

私たちはいつまで賃上げをすれば幸せになれるのか。金融のど真ん中にいた新井氏だからこそ見える世界があります。

新井氏は、大病を機に「お金だけに振り回される社会、正直者がバカを見る社会にはいけない」という強い想いで

共感資本社会の実現を目指し「共感コミュニティ通貨eumo」を開発しました。

社会実験を開始した今だからこそ、「みんなが幸せになれる資本主義の未来」の実現を考えてみませんか。

Point

3

開催してみても参加者の反応や、意見、創発の内容

- ・勉強になった。幸せとは何なのか、お金とは何なのかを考える良い機会になった。
- ・弊組では福利厚生のためのポイントを1年期限で付与して運用している。
その中にはギフトという概念はなかったが、ギフトで創る信頼感の醸成というアイデアは非常に面白く参考になった。
ギフトをただの仮想通貨の交換でなく、きちんと信頼感の醸成につなげるための工夫についてもっとお話を聞きたいと思った。
- ・会社との協議では「業績が悪い」「原資がない」という議論に終始してしまうことが多い。
お金にとらわれない社員の幸福について考えるという思想を感じる機会がまだまだ少ない。
しかし、労働組合には仲間同士の助け合いを推進したり、組合員の困りごとに寄り添って一緒に解決を図ったり、まだまだできることがたくさんある。
これからは組合員の働きがいを高めること、そして幸福を実感できることにつながるアクションを労働組合としてしっかりと描いていきたい。
- ・自労組でもポイント制による福利厚生の充実について考えていたところだったので参考になった。
- ・今後も新井氏が企画しているイベントに参加してみたい

Point

4

アップデートしていくためには どんなことが必要？

共感コミュニティ通貨の取り組みは、まだ始まったばかりです。

まずは賛同者や協力者など、想いを同じくする人たちで構想していくことから始まります。

今後も意見交換会の場を設けています。

ぜひ、新しい取り組みに参加してみませんか。